

私の体験談 出産してからの学び直し

認定こども園に就職し、現在3年目KTさん
総合子ども学科 こどもプロコース卒業



Q. 育児中に、保育士・幼稚園教諭を目指されたきっかけは何ですか？

当時4歳だった娘と遊ぶことが楽しく、通園していた園の玩具に興味をもつようになりました。園にある玩具と同じ物を購入して遊ぶ中で、どのように言葉掛けをしたり関わるのが娘にとって良いのか？と考え調べていたときに、現在勤めている園でおもちゃのワークショップが開催されることを知り受講しました。講座の中で、参加されていた多くの保育者の方々の子どもへの思いなどを伺い、保育士という仕事に興味をもつようになりました。

Q. 習学期間中、子育てと学びの両立において、生活上の工夫や取り組みや、学費対策などは？

娘は、学童保育を利用し授業が終わってから迎えに行っていました。
実習期間中は、学童保育の延長制度も利用しました。
朝食準備、自分のお弁当と夕食の下準備など、帰宅後スムーズに夕食を食べられるよう工夫していました。
貯蓄と合わせて、教育訓練支援給付金、専門実践教育訓練給付金制度も利用しました。

Q. 資格取得後の現在の仕事内容とやりがい、そして今後の夢をお聞かせください。

今は0歳児クラスの担任をしています。子どもも保護者の方も安心して過ごすことができるよう日々のコミュニケーションを大切にしています。
今後も、子どもとともに過ごし、一緒に成長していけたらと思っています。

Q. HOSEN への入学を検討したのはなぜですか？また、決意されたきっかけは何ですか？

HOSEN に決めた理由は、オープンキャンパスで見た先生と学生との良い意味での距離の近さです。また通学路の自然環境にも魅力を感じました。

Q. 学び方や、就職活動をするにあたり、HOSEN からどのようなアドバイスや支援を受けましたか？

広い視野をもち、周りをよく見てみる。自分自身の本当にやりたいことが何なのか、自分自身のことをよく知ることが大切だと学びました。

私の体験談 出産してからの学び直し

総合子ども学科 卒業

Q. 育児中に、保育士・幼稚園教諭を目指されたきっかけは何ですか？

自身が母となったことで子どもの成長に関わることや、保育・福祉に興味を持ちました。

Q. 習学期間中、子育てと学びの両立において、生活上の工夫や取り組みや、学費対策などは？

子どもは保育園に通っていたため保育園や親族に預けられました。子どもの体調不良時にはサポートしてくれる協力者がいてくれて修学を続けられました。学費対策では、ハローワークの職業訓練制度や高等職業訓練制度（ひとり親家庭対象の制度）などの給付型の制度を利用することで負担は大幅に減り、不安も少ない中で学びに向かうことができました。また、家庭と学びを両立する気持ちを共感できる同級生の仲間がいたことで、精神面でも支えられながら2年間の学び直しの時間を楽しむことができました。

Q. 資格取得後の現在の仕事内容とやりがい、そして今後の夢をお聞かせください。

資格取得後（卒業後）は保育園に就職し、今年で2年目になります。昨年度は乳児クラス（0.1歳児）を担当し、今年度は幼児クラス（4歳児）を担当し、現在は副担任として保育に関すること全般です。実際にクラスを持たせてもらう責任感のもとで築いた信頼関係や成長を感じたときの嬉しさは日々の原動力であり、やりがいに繋がっています。十人十色な子どもたちの集団生活なので、様々に難しさを感じる場面や壁にもまだまだ、まだまだぶつかっていますが、その度にひとつずつ振り返っては反省したり相談したり向き合ったりしながら、保育士としてもですが人として魅力のある人になりたいので、へこたれず素直に笑顔を保ち自己研鑽を続けたいと思っています。

Q. HOSEN への入学を検討したのはなぜですか？また、決意されたきっかけは何ですか？

初めは京都市内の保育士養成校を中心に数校検討していました。けれども、HOSEN に決めたのは、当時窓口になってくださった HOSEN の植田先生が簡潔に的確に、親身になって教えてくださり、他校以上に子育てをしながら学ぶ者への理解や配慮を感じたからです。私の場合、子どもの保育園への送り迎えがあり、当時検討した他校では受講時間が生活に合わないことが一番のネックだったのですが、HOSEN は通学時間も含めて通いやすい時間帯でカリキュラムが考慮され、とても有り難かったです。

Q. 学び方や、就職活動をするにあたり、HOSEN からどのようなアドバイスや支援を受けましたか？

在学時代は、先生方がいつでも気にかけて声をかけてくださり、親しみやすい雰囲気、アットホームさが常に支えてくれた。2年生の終盤の安原先生のゼミは、少人数で保育福祉に関する様々なテーマに対する考えや価値観を、先生・学生、年齢に関係なく伝え合い、深い学びを得られたことが今に繋がっています。そうした雰囲気の中で、私自身の性格や生活環境を知ってもらえているので、就職活動時にも相談しやすく、一緒に考えてくださったことが心強かったです。現役の学生時代とはまた違って、一度社会に出てから改めて学ぶことが「楽しい・面白い」と思えたのは、先生方のいる HOSEN という環境だったからで、保育福祉という同じ志に向かう仲間と励ましあえたからだと思っています。

私の体験談 出産してからの学び直し

榎京子 さん
社会福祉法人穴太福祉会 風の子保育園 勤務
総合子ども学科保育コース卒業 勤続期間 6ヵ月

Q. 育児中に、保育士・幼稚園教諭を目指されたきっかけは何ですか？

幼い頃から保育士や幼稚園の先生など子どもに携わる仕事に憧れていましたが、ピアノができない、歌が歌えないなどの理由から諦めてきました。自分自身も子どもに恵まれ、子どもの素直さ、感性の豊かさ、成長の過程に触れ、改めて子どもに携わる仕事がしたいと思ったからです。

Q. 習学期間中、子育てと学びの両立において、生活上の工夫や取り組みや、学費対策などは？

父母の応援があり、私は、恵まれていました。空きコマの利用や、時間管理をしっかり行い予習復習やピアノの練習に充てました。特にレポート提出時や試験前、実習中などは、家族がサポートしてくれました。

Q. 資格取得後の現在の仕事内容とやりがい、そして今後の夢をお聞かせください。

保育士として仕事を始めて半年経ちました。毎日変化があり、子どもたちと笑ったり、悲しくなったり、楽しんだり、充実しています。
まだまだ、子どもや保護者への対応など環境に応じての言葉の引き出しのなさを痛感しています。毎日、子どもが無事に来て、無事に帰れる保育を続けたいです。

Q. HOSEN への入学を検討したのはなぜですか？また、決意されたきっかけは何ですか？

電車での通学に便利だったこと、先生方に丁寧に学校生活について説明していただき、自分が HOSEN に通い学ぶイメージが持てました。

Q. 学び方や、就職活動をするにあたり、HOSEN からどのようなアドバイスや支援を受けましたか？

いつも、まず、家庭のこと、私のことを気にかけてくださりました。